

はじめに

本市では、これまで、公私立幼稚園や保育所（園）、認定こども園等の就学前施設が、それぞれの教育理念のもとに幼児教育を推進してまいりました。

国においては、平成 29 年 3 月に幼児期における教育・保育の指針となる幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が改訂され、幼児教育に関する記載がおおむね共通化されました。これからの幼児教育は、施設の種別を越えて、共に日本の幼児教育を推進していくことになりました。

この先の社会は、グローバル化や、ICT（情報通信技術）をはじめとする AI（人工知能）、IoT（物のインターネット）といったテクノロジーが想像を超えて進展するなど、目まぐるしい速さで変化し続けることは間違いありません。

子どもが、このような時代をたくましく生き抜いていくためには、基本となる「知識や技能」のみならず、その知識や技能のもとに「問題を発見し、自ら考え、判断して問題を解決する力」、「他者と協働して新しい価値を創り出す力」、「学び続ける意欲や姿勢」などを培う必要があります。幼稚園、保育所、認定こども園等の就学前施設においては、これらの「資質や能力」の土台を育てていくことが期待されています。

このようなことから、本市では、伊丹市としての幼児教育理念と育てたい子ども像を定める「伊丹市幼児教育ビジョン」を策定します。

自然や愛情、ことば文化に着目した本市ならではの幼児教育ビジョンのもと、一人ひとりの子どもがふるさと伊丹を愛し、自らの夢の実現に向かって、未来を切り拓いていける力を身に付けることができるよう、公私立の幼稚園、保育所（園）、認定こども園等の保育者、学校関係者、保護者、地域の人々と共に、幼児教育の充実に取り組んでまいります。

平成 30 年（2018 年）3 月 伊丹市教育委員会

目 次

1	幼児教育の基本理念と育てたい子ども像 …………… 1
	（1）基本理念
	（2）育てたい子ども像
	（3）3つのキーワード〈愛情・自然・ことば〉
2	遊びを通して学ぶ子どもたち ～質の高い幼児教育とは～ …………… 11
	（1）遊びを通して学ぶ
	（2）豊かな遊びと学び
3	これからの幼児教育の充実をめざして …………… 15
	伊丹市として取り組むこと
	① 豊かな保育環境の充実
	② 保育者の資質向上
	③ 一人ひとりに応じた子どもの支援の充実
	④ 幼児教育から小学校教育への接続
	⑤ 保護者支援
	⑥ 地域とのつながり
4	参考資料 …………… 24
	・ 幼児期に育みたい資質・能力3つと 幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿
	・ 伊丹市内の就学前教育・保育施設
	・ 幼児教育ビジョンの策定趣旨と経過
	・ 幼児教育ビジョンの位置づけと計画期間
	・ 伊丹市幼児教育ビジョン策定委員会 委員名簿